

第一回 練馬光が丘駅前  
モデル地区プロジェクト  
(報告書)

# 開催趣意

エスカレーターを誰もが安全に利用できる社会づくりを推進して行くうえで、モデル地域となる環境を作る活動の第一弾として実施。

光が丘地域に多い電車通勤利用者や家族層をターゲットとしてモデル地域として選定させていただき活動を進める。

# 開催概要

## 開催日時

平成 29 年 12 月 3 (日) 10:45-13:45

## 会場

大江戸線光が丘駅 駅前路上 (別紙参照)

## 参加者

エスカレーターマナーアップ推進委員会 7名

## 協力団体

文京学院大学 経営学部 2名

# 活動内容



ティッシュ配り



声掛け エスカレーターの安全な利用の呼びかけ



アンケート エスカレーターの右側を歩くor止まる

# 結果

- ・1時間半でティッシュ500名を配布
- ・125名の方にアンケートにお答えいただく  
(止まる:57名 歩く:68名)
  - ※止まるの中にはそもそも歩かないから右側に乗らないも含む
  - ※回答者の傾向はご高齢の方か家族連れが多い印象
    - 働く世代はせかせかと通り過ぎることが多く、世論を適切に反映しきれない印象もある

## 【アンケート時のコメント】

- ・そもそも歩かないから左に乗る
- ・右側は歩くもので左側は止まるものと子供に教えている
- ・歩けないと困る

# 振り返り

アンケートは聞き返されることが多く、伝わりにくい  
今後は変更を検討: 右側を止まっていいかどうか  
止まるものだと思っているか 等

光が丘のモデルケース化

対象は通勤をするビジネス世代.

モデルケースとしての場所は良いが、対象者へ伝える工夫  
や現状調査が必要

# 活動参加者

